

演習・協議

「各学校段階における道徳教育の一層の推進 ～道徳の時間など基軸となる指導の機会と場の充実に向けて～」

豊かな心育成課

【趣旨】

教育再生実行会議から、いじめの問題の本質的な解決に向け、道徳教育の充実や教科化についての第一次提言がなされ、この提言を踏まえて道徳教育の充実に関する懇談会より、昨年 12 月末に、「今後の道徳教育の改善・充実方策について」の報告がなされた。

この報告では、「心のノート」の全面改訂や教員の指導力向上、道徳の教科化の具体的な在り方についての方向性が示されている。特に道徳教育の取組においては、今なお多くの課題が存在していることを指摘し、その課題として「道徳教育の目指す理念が関係者に共有されていない」「教員の指導力が十分でなく、道徳の時間に何を学んだかが印象に残るものになっていない」等を挙げている。

学習指導要領では、学校の教育活動全体で取り組む道徳教育の要としての道徳の時間の役割と重要性が明確に示されており、道徳の時間の特質に基づく指導の一層の創意工夫と充実を図ることが重要である。

本県でも、要となる道徳の時間の充実に向けて、各市町道徳教育推進協議会を中心に取組が進められており、今年度は、特に校内研修の充実を視点を置き、各教師の指導力向上を目的として研修等を行っている。その結果、各校においては、児童生徒が「楽しい」「ためになる」と感じる授業が各校で実施されている。一方で、形式化した指導や道徳的価値を教え込むだけの指導が未だ問題点として挙げられるという現状もある。

そこで、道徳の時間の特質を踏まえた授業改善について、学習指導案をもとに協議することにより、授業改善の視点を共有するとともに、各校の校内研修の充実につなげていくことで、教員の指導力の向上につなげ、本県の道徳教育の充実に資する。

【協議の流れ】 13:00～14:40

- | | |
|---|---------------|
| (1) 協議の流れ等の説明 | (13:00～13:10) |
| (2) 自己紹介及び役割分担
○司会・記録・発表者(各1名) | (13:10～13:15) |
| (3) 資料に基づく個別の検討
○本時の展開において、ねらいにせまる授業とするために、修正をした方がいいと思われる部分を挙げる。
○なぜその部分を修正する必要があるのか、その理由も併せて考える。
○修正が必要な部分についての改善案を考える。 | (13:15～13:40) |
| (4) グループ協議
①個別で考えた修正部分について、交流する。
②授業実施前に修正した方が良くと思われる部分についてその優先順位も含めて検討し、改善案を協議する。 | (13:40～14:15) |
| (5) 発表 | (14:15～14:30) |
| (6) まとめ | (14:30～14:40) |